

フランチのチャオ! 南島原



年賀状を始め、お中元、 お歳暮など日本では年間を 通してお世話になった人に 感謝の気持ちを込めた手紙 やお土産を贈る習慣があり



ます。物を送らなくても子どものときから日本人は相手に 対して感謝を表すように教育を受けています。

日本では「ありがとうございます」、「心から感謝を申し上 げます」、「大変お世話になりました、ありがとうございました」 などの言葉をよく耳にしますし、文書でもよく目にします。 私は、相手に感謝の言葉を伝えることを大切にしている日本 人を尊敬します。礼儀正しい姿勢を見せることによって人間 関係を築くことができるので本当に素晴らしい習慣だと思い ます。初めて来日したときの良い印象として残っています。

他の国に行って初めて母国の文化に気づかされること があります。

私の場合、しばらく日本に住んで久しぶりにイタリア に帰ったときにイタリア人は日本人と比べて「ありがと う」という言葉を使う人・機会が少ないと感じます。

日本では頻繁に耳にしますので、イタリアではほとんど 使われていないように感じるかもしれませんが、イタリア でもこの日本の感謝の文化を広めて定着してほしいです。 しかし、日本人には当たり前なことで気にしないかも

しれませんが、人に会う度に「この間お世話になりまし た」、「先日はお世話になりました」という挨拶を毎回使 えば、私には決まり文句のように聞こえてしまいます。 決まり文句に聞こえないよう、いつも心を込めた「あり がとう」を言うように心掛けたいものです。



Eメール: chiikiseisaku@city.minamishimabara.lg.jp



イタリアからの国際交流員フランチェスカ のイタリア料理講座を開催します。 簡単なイタリア語・イタリア文化を勉強し ながら楽しく料理を作ってみませんか? お子様連れでも大丈夫です。 ※「ヴォーノ」とは、イタリア語で「おいしい」という意味。

ガレット・クレープ・ブロッコリー

№10月15日休 午前10時30分~午後1時30分 間有家保健センター

窟20人(先着順)

圏500円(参加人数で変動)

〆10月8日休 午後5時

甲電話、FAX、Eメールで申し込んでください。

年金記録の訂正請求手続き

被保険者期間や保険料納付状況など、厚生労働大臣 が管理している年金記録が間違っている場合、将来受 け取る年金額も少なくなってしまうことがあります。

自分自身の年金記録に間違いがあると思う人は、こ れまで総務省へ年金記録の「確認申立て」という形で 手続きを行ってきましたが、平成27年3月以降は厚生 労働省に対して年金記録の「訂正請求」をすることが できるようになりました。

総務省への年金記録の確認申立ては「あっせん」と いう形で行われていましたが、厚生労働省の年金記録 の訂正請求手続きでは、訂正請求を国民の権利として 位置づけ、不訂正決定などの決定内容に不服がある場 合には、審査請求や訴訟提起をすることができます。

厚生労働省への年金記録の訂正請求の受け付けにつ いて、詳しくはお近くの年金事務所へお尋ねください。

- 間日本年金機構諫早年金事務所 ☎0957(25)1662 南島原市保険年金課 ☎050(3381)5039 または各支所







つなごう未来へ!島原半島世界ジオパーク

ジオパークであり 続けるための取り組み



問島原半島ジオパーク協議会 ☎0957(65)5540

キャラクター「ジーオくん」

ジオサイト® 3つの異なる湧水と温泉 ~小浜温泉~



上の川湧水。江戸時代から湧き続ける名水です。

今回は雲仙市の観光スポットの一つ・小浜温泉を取り 上げます。

小浜バスターミナルでバスを降り、山に向かって坂 を上ると、小浜公会堂のレトロな建物が見えてきます。 この建物の奥には、清楚な水が湧き出る湧水スポット・ 上の川湧水があります。

トの川湧水には、1629年の夏、キリシタンを連れ た役人が雲仙に向かう途中に立ち寄って、喉を潤したと いうエピソードが残っています。かつての庄屋跡をしの ばせる見事な石垣の下から湧き出る水は、中性の軟水で、 水温は真夏でも20度以下です。今も多くの人が水を汲 みに来るこの湧水から、約200メートル南に移動した ところにあるのが、刈水です。



刈水。炭酸ガスが地下からボコボコ湧き出しています。

刈水では、地下から炭酸ガスがボコボコと音を立てて 湧き出しており、様相が一変します。水温は28℃前後で、 水質は酸性です。独特の匂いがしますが、これはガスの

中にわずかに硫黄が含まれているためです。温度は低い もののこれも温泉(炭酸水素塩泉)で、この湯はあせもや アトピーなどの皮膚病に効くとされ、昭和の初めころま では共同浴場もありました。

刈水からさらに200メートルほど南に移動すると、 水温が90℃以上に達するアルカリ性の温泉(塩化物泉) が、小浜歴史資料館の庭に湧き出しています。この源泉 は、1614年に島田氏と共に愛知県三河から小浜に来 て、初めて宿泊用の長屋を整備した本多氏が、島原藩主 松平忠房公の命を受け、江戸時代中期より維持管理して きたものです。この本多湯太夫の邸宅跡が現在の小浜歴 史資料館で、正面の門は島原城から払い下げた本物のお 城の門です。



小浜歴史資料館の敷地にある塩化物泉の源泉

このように、小浜地域ではわずか数100メートル移 動するだけで、水温や水質が大きく異なる様々な湧水・ 温泉と、それにまつわる歴史を楽しむことができます。 歴史や文化、食にも恵まれた小浜の町を、少し違った視 点で散策してみませんか?

次回は、島原市の武家屋敷を紹介します。

第5回島原半島ジオパーク検定開催! (初級・中級) 11月21日(土) 開催

※詳細は来月の広報紙でお知らせします。

23 広報 南島原 2015.9 **広報 南島**原 2015.9 22